

登録コード	UAG02500	開講年度	2026			
授業題目	上級マクロ経済学				担当教員	青木 周平
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・経済学, 2 5 UAカリ・総人社・経済学, 2 4 UAカリ・総人社・経済学					
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。				マクロ経済学分野の高度な知識を身につける。	
(2)授業の概要	上級のマクロ経済学とプログラミング言語を用いた数値計算分析法・データ分析法の学習を並行して進めていく。マクロ経済学については、ソロー・モデル、成長会計、最適成長理論を学ぶ。これらの内容を、プログラミング言語Rを用いて数値計算・データ分析を行いながら理解していく。 この授業の中で、適宜、学部のマクロ経済学の復習とプログラミング言語の学習を行っていく。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とする。 ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前に連絡する。					
(3)授業計画	第1回: オリエンテーション 第2回: 単純なソロー・モデルの性質 第3回: Excelを用いたソロー・モデルの数値計算法 第4回: 生産性と人口が成長するソロー・モデルとExcelを用いたソロー・モデルの数値計算法 第5回: プログラミング言語を用いたソロー・モデルの数値計算法 第6回: プログラミング言語を用いたソロー・モデルの数値計算の実習 初期値の資本が違う2つのケースを数値計算し結果を图示する 第7回: Penn World Tableとプログラミング言語を用いたグラフ作成実習 第8回: Penn World Tableを題材に、プログラミング言語を用いたデータ加工法の説明 第9回: 成長会計 第10回: 成長会計分析のためのPenn World Tableのデータ加工実習 第11回: Penn World Tableを使った成長会計分析 第12回: Penn World Tableを使った成長会計分析実習 第13回: お金持ちの資産ランキングデータを使った資産分布分析実習 第14回: 企業データを用いた企業の規模分布分析実習及びまとめ 期末試験の有無 無					
(4)成績評価の方法	ほぼ毎週、数値計算やデータ分析の宿題を課す。翌週の授業の中でその結果を報告してもらう。その内容により成績を評価する。					
(5)成績評価の基準	授業で提出した成果物について、それが授業での内容を基本的に理解し実践したものであれば「水準にある（可）」。それが授業での内容の多くを理解し実践したものであれば「やや上にある（良）」。それが授業での内容の大部分を理解し実践したものであれば「かなり上にある（優）」。それが授業での内容の大部分を理解し、かつ授業で説明していない内容についても自ら調べ発展させたものであれば「卓越している（秀）」。					
(6)事前事後学習の内容	事前学習の必要はない。事後学習として、宿題に取り組むことが重要である。 この授業と並行して、データサイエンス・ゼミが開催される予定である。このゼミでは、プログラミング言語の初歩や、プログラミング言語を用いてデータを加工する方法、グラフを作成する方法、データを分析する方法などを学習していく。このゼミに参加することを推奨する。					
(7)履修上の注意	学部の入門レベルのマクロ経済学の知識を前提とする。					
(8)質問,相談への対応	授業中に質問してください。個別の質問がある場合には、メール(shuheiaoki@shinshu-u.ac.jp)にて連絡してください。					
【教科書】	使用しない。					
【参考書】	授業中に適宜指定する。					